

地 域 再 生 計 画

1. 地域再生計画の名称

吉野川水源地の村づくり再生計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県、吉野郡川上村

3. 地域再生計画の区域

奈良県吉野郡川上村の全域

4. 地域再生計画の目標

川上村は、奈良県の南東部に位置し、年間4,000mm以上の雨が降る大台ヶ原や、世界遺産に登録された大峰山系を源とする、吉野川の源流の村です。その豊かな水の恵みにより、吉野林業の中心とされるほど林業が盛んな山村です。

しかし、その豊かな水源故に、ダムの建設や、それに伴う村の中心地の水没など、村を巡る環境は大きく変化しました。

このため、村では水源地の村づくり『樹と水と人の共生』をテーマに掲げ、ダムと共存し、林業の振興や水源地としての、豊かな森林を守り育てる取り組みを行っています。具体的には、三之公地区に残されていた740haの天然林を購入し、「水源地の森」として保全している他、樹齢300年以上の杉や桧の現存する古木の森を村で購入する等の活動や、自然や水源地を守る大切さ、楽しさを学べる場としての、「森と水の源流館」の建設などの活動を行っています。

しかし、歴史ある林業も、産業構造の変化等により低迷し、林業意欲の低下による森林整備の遅れから、人工林の荒廃が進んでいる状況です。水源の森を守るためには、森へのアクセスを改善し、生産性の向上および就労条件の改善を図ることが必要となっています。

一方で、平成16年に村内を通る「大峯奥駆道」が、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産登録され、関連イベントや交流会の参加者、一般の登山客などが増加傾向にあります。

しかし、登山口や観光スポットへの道路整備が遅れており、幅員の狭い村道が多いなど、アクセス道路の整備が求められています。また高齢化の進んだ当村にとって、病院や商店へのアクセスを容易にするなど、日常生活の改善を図る上でも村道の整備が必要です。

このようなことから、村では村道や林道の整備を促進することにより、町から

自然を求めて訪れる観光客にやさしく、住民に住みやすいむらづくりを進め、水源地の村・林業のふるさととして、樹と水と人が共生し安心して住み続けられる豊かな村づくりを目指します。

- (目標 1) 都市住民との交流 イベント・交流会参加者の 10%増加
- (目標 2) 森林整備による間伐面積の 5%増
- (目標 3) 村道整備による居住環境の改善(集落から病院や商店等への時間を 5 分短縮)

5. 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

水源の森に至る「林道三之公線」を整備することにより、この森の自然環境調査や都市の人々と一体となった保全・交流活動・子供たちの体験学習などのアクセス道路として車両の通行の安全を確保し、また「林道高原洞川線」を整備することで、森林施業の効率化と間伐材の搬出の促進を図り、大峯奥駆道へのアクセス道路として車両の通行の安全を図るとともに、「村道井光線」の改良を行なうことで、地域環境の改善を図り、また林道と一体となつての林業振興による地域経済の活性化を図る。

| | |
|----------------|----------------------|
| 林道三之公線および高原洞川線 | 平成 16 年 4 月 1 日 |
| | 吉野地域森林計画登載 |
| 村道井光線 | 昭和 56 年 3 月 20 日村道認定 |

5 - 2 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

[事業主体]

奈良県吉野郡川上村

[施設の種類]

村 道(川上村) 川上村

林 道(川上村) 川上村

[事業区域]

奈良県吉野郡川上村全域

[事業期間]

林 道(平成 17~21 年度)

村 道(平成 18~20 年度)

[事業費]

総事業費 148,000,000 円

村道 36,000,000 円 (うち交付金 18,000,000 円)

林道 112,000,000 円 (うち交付金 56,000,000 円)

[整備量]

林道 830m、村道 300m

5 - 3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、地域再生計画を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に行うものとする。

1. 水源地の森購入、保存整備

水源の広大な広葉樹の森を買い取り、村の財産として保存し、自然環境を守るとともに環境教育の場として利用。

2. 歴史の証人(下多古の森)保存整備

樹齢数百年の杉や檜の古木を保存し、村民や観光客に自然の大きさを実感してもらう取り組み

3. 森と水の源流館運営

森の奥の状態を建物(源流館:平成14年建設)の中で再現し、その雰囲気や四季の自然をあたかも森の中にいるような疑似体験を通して、学んでもらう場所を提供。

4. 達ちゃんクラブの年14回開催

自然への自然や水の大切さを学ぶ場としての自然へのふれあい体験。地元の林業家で郷土愛に富み、自然への造詣が深い指導者が意欲的に実施し、村が後援している。

5. 川上村有林『緑の循環認証会議』(SGEC)「緑の認証」取得

水源地の森を守るために、人工林を適正に管理し、健全な森を守り、育てていくことを対外的にアピールする。

6. 吉野川・紀ノ川流域市町村交流会

吉野川の水を利用する下流の和歌山市民との住民同士の交流を通して、また、水源地の森や木に直に触れることにより、森や水の大切さを認識してもらう。

6. 計画期間

平成17年度~21年度

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4 に示す地域再生計画の目標については、川上村が計画終了後に必要な調査を行い、状況を把握・公表するとともに、関係行政機関と地元住民からなる「地域再生協議会」を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行なうこととする。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し

(添付資料)

1. 地域再生計画区域図
2. 地域再生計画工程表及びその内容を説明した文書
3. 地域再生計画整備箇所図
4. 地域再生計画の全体像を示すイメージ図